

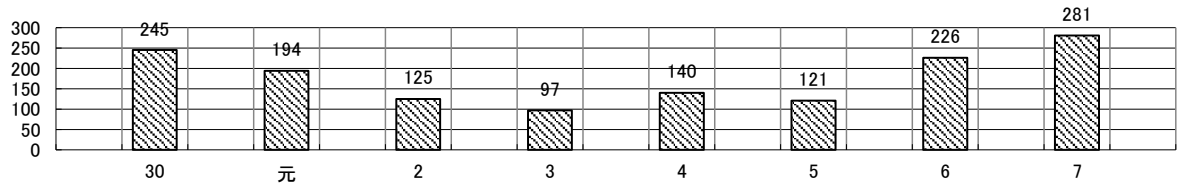
令和7年度 宇治市児童・生徒の問題行動と不登校の状況について

1 小学校

(1) 問題行動件数の推移

(件)

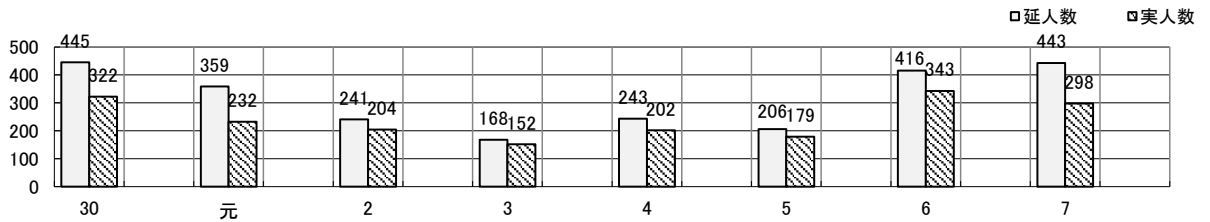
年度	30	元	2	3	4	5	6	7
件数	245	194	125	97	140	121	226	281



(2) 指導人数の推移

(人)

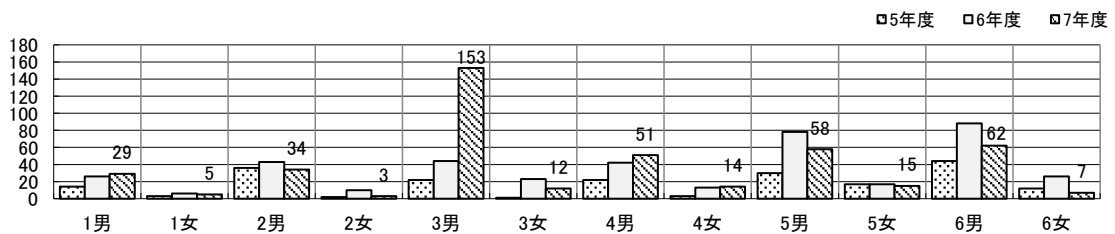
年度	30	元	2	3	4	5	6	7
延人数	445	359	241	168	243	206	416	443
実人数	322	232	204	152	202	179	343	298



(3) 学年別指導延べ人数の推移

(人)

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
5年度	14	3	36	2	22	1	22	3	30	17	44	12	168	38	206
6年度	26	6	43	10	44	23	42	13	78	17	88	26	321	95	416
7年度	29	5	34	3	153	12	51	14	58	15	62	7	387	56	443



(4) 多発した問題事象

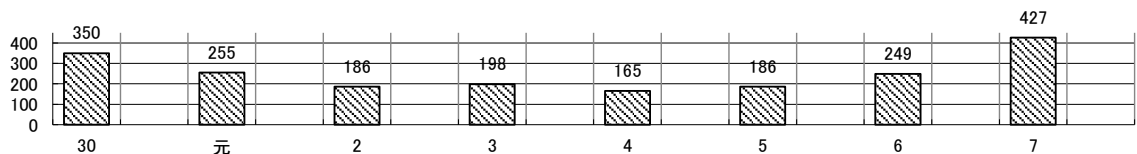
事象名	6年度				7年度				前年比		
	順	件数	男子	女子	順	件数	男子	女子	件数	男子	女子
生徒間暴力-校内外	1	81	109	11	1	80	100	3	▲1	▲9	▲8
悪質ないたすら・不健全な遊び	2	49	82	35	2	53	94	14	4	12	▲21
対教師暴力-校内外	7	4	4	0	3	22	26	0	18	22	±0
金銭物品盗	4	8	4	5	4	11	15	2	3	11	▲3
器物損壊	3	11	11	4	5	8	7	1	▲3	▲4	▲3
わいせつな行為	5	7	10	0	6	6	6	0	▲1	▲4	±0
万引き	10	2	2	0	6	6	3	4	4	1	4
金銭の持ち出し	8	3	0	6	8	5	17	5	2	17	▲1
火遊び	6	6	16	1	9	3	17	0	▲3	1	▲1
喫煙	11	1	2	0	10	2	3	1	1	1	1

2 中学校

(1) 問題行動件数の推移

(件)

年度	30	元	2	3	4	5	6	7
件数	350	255	186	198	165	186	249	427

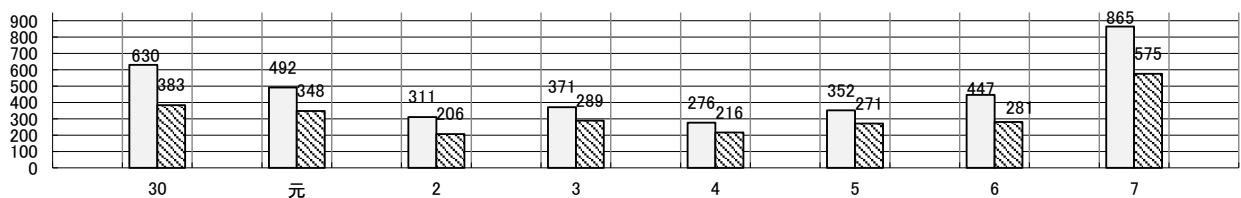


(2) 指導人数の推移

(人)

年度	30	元	2	3	4	5	6	7
延人数	630	492	311	371	276	352	447	865
実人数	383	348	206	289	216	271	281	575

□延人数 □実人数

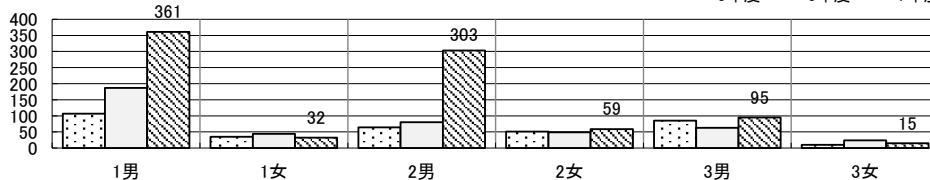


(3) 学年別指導延べ人数の推移

(人)

	1年		2年		3年		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計
5年度	107	35	64	51	85	10	256	96	352
6年度	187	44	80	49	63	24	330	117	447
7年度	361	32	303	59	95	15	759	106	865

□5年度 □6年度 □7年度



(4) 多発した問題事象

事象名	6年度				7年度				前年比		
	順	件数	男子	女子	順	件数	男子	女子	件数	男子	女子
生徒間暴力・校内外	1	70	116	3	1	83	143	4	13	27	1
悪質ないたずら・不健全な遊び	2	35	61	9	2	59	135	11	24	74	2
対教師暴力・校内外	4	7	9	1	3	25	24	1	18	15	±0
器物損壊	7	6	9	0	4	20	36	0	14	27	±0
無断外泊・家出	3	16	4	12	5	16	8	10	±0	4	▲2
喫煙	4	7	3	6	6	10	11	5	3	8	▲1
わいせつな行為	4	7	11	2	7	9	14	0	2	3	▲2
火遊び	7	6	16	0	8	7	22	0	1	6	±0
金銭物品盗	9	4	7	0	9	4	7	0	±0	±0	±0
万引き	10	3	0	3	9	4	7	2	1	7	▲1

3 その他

① 児童虐待と思われる事象報告件数

(件)

	小	中	計
5年度	103	62	165
6年度	68	40	108
7年度	74	43	117

② 携帯電話やインターネット等に係る事象(件・人数)

	件数	人数
5年度	53	127
6年度	31	68
7年度	60	132

③ いじめ調査 (実人数)

(人)

	いじめ認知・実人数			組織的・継続的指導ケース			重大事態		
	小	中	計	小	中	計	小	中	計
6年度	1,865	154	2,019	656	30	686	0	0	0
7年度	1,569	177	1,746	462	55	517	0	0	0

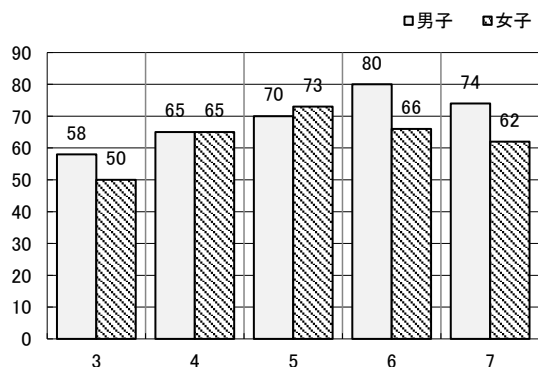
4 不登校の状況（文部科学省調査より）

（１）不登校児童・生徒（年間３０日以上欠席）の推移

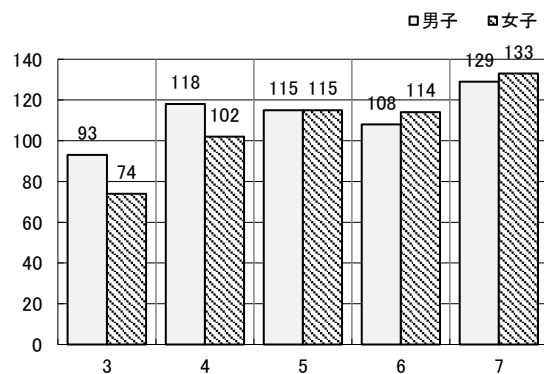
（人）

年度	３			４			５			６			７		
性別	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
小学校	58	50	108	65	65	130	70	73	143	80	66	146	74	62	136
中学校	93	74	167	118	102	220	115	115	230	108	114	222	129	133	262
合計	151	124	275	183	167	350	185	188	373	188	180	368	203	195	398

＜小学校＞



＜中学校＞



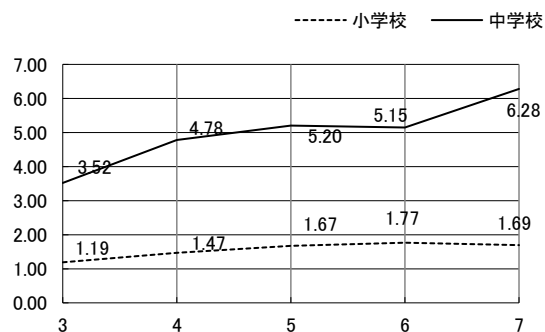
（２）出現率の推移

（％）

年度	３	４	５	６	７
小学校	1.19	1.47	1.67	1.77	1.69
中学校	3.52	4.78	5.20	5.15	6.28

☆ 文部科学省令和６年度の調査による全国の出現率

小学校＝	2.30
中学校＝	6.79



（３）小学校一学年別性別不登校児童数

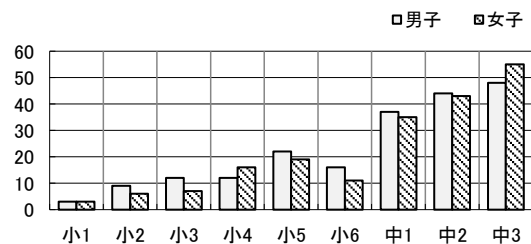
（人）

学年	小１		小２		小３		小４		小５		小６	
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	3	3	9	6	12	7	12	16	22	19	16	11

（４）中学校一学年別性別不登校生徒数

（人）

学年	中１		中２		中３	
性別	男	女	男	女	男	女
人数	37	35	44	43	48	55



5 不登校対策事業の状況

(1) Uji ふれあい教室（不登校児童生徒自立支援教室）

ア 目的

不登校児童生徒に対し、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、自らの進路を主体的に捉えて、社会的自立に資することを目的とする。

イ 対象児童生徒

市内在住の不登校となった小学校3年から中学校3年までの児童生徒とする。但し、遊び非行型の不登校、医療を必要とする重度の疾患などがある児童生徒は受け入れることができない場合がある。

ウ 校種別学年別男女別在籍児童生徒数

単位：人

校種	小 学 校				小学校計	中 学 校			中学校計	小中学校合計
学年	3年	4年	5年	6年		1年	2年	3年		
男子	2	2	3	1	8	5	2	3	10	18
女子	1	4	1	0	6	2	5	0	7	13
合計	3	6	4	1	14	7	7	3	17	31

エ 児童生徒の状況

ほぼ学校登校するようになった児童生徒 6人（19.4%）

部分登校等行った児童生徒 11人（35.5%）

※定期的な登校（日、曜日を自分で決めて登校、行事の時）

（入所前より）状況がよくなった児童生徒 10人（32.2%）

※定期的、継続的ではないが登校したことがある

入所前と大きくは変化が見られない児童生徒 4人（12.9%）

オ 令和6年度から令和7年度にかけての異動状況

前年度より継続して入所した児童生徒 17人

新規に入所した児童生徒 14人

カ 入所生徒の進路（中学3年生3人）

高等学校 3人

(2) 心と学びのパートナー派遣事業

ア 目的

生徒が身近に感じる大学（院）生、教員志望者等の若い世代、若しくは教職経験者などを「心と学びのパートナー」として各校に配置し、児童生徒が悩みなどを気軽に話せる環境をつくる。

イ 活動内容

教育相談室や保健室、不登校児童生徒が通う別室などにおいて、児童生徒の悩みを聞き、教員とは違う立場で児童生徒の心のゆとりが生まれるよう援助する。

ウ 配置状況

6中学校 派遣時間：1校につき280時間／年

北宇治中学校、榎島中学校、西宇治中学校、南宇治中学校、広野中学校、黄檗中学校

エ 心と学びのパートナーの援助内容別実件数

内 容	実件数	割 合
学級での児童生徒への支援	4	3.0%
別室登校児童生徒への対応	104	78.8%
休憩時間の廊下等での対応	8	6.1%
相談室等での来室相談	12	9.1%
保健室での対応	0	0.0%
その他	4	3.0%
合 計	132	100.0%

オ 対象者の内訳（延べ人数）

相談者等	人数(人)
1年生	359
2年生	915
3年生	946
保護者	2
教師等	3
合 計	2,225

(3) 不登校児童生徒支援事業

ア 目的

コーディネーター・支援員を配置し、学校への支援及び不登校児童生徒やその家庭への直接支援をととして、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を行う。

イ 活動内容及び実績

- ・全小中学校への巡回訪問
- ・個別の不登校児童生徒の支援及び支援方法の検討
16小中学校 42ケース
- ・上記のうち家庭訪問による不登校児童生徒への支援の実施
4ケース（1ケースにつき基本的に週1回訪問）
- ・その他研修の実施

(4) 不登校児童支援強化事業

ア 目的

登校はできるものの教室に入ることが難しい児童の学びの場を充実するため、小学校に不登校児童に対する支援員を配置し、校内におけるもう一つの居場所を確保する。

イ 配置校

10校（菟道第二小学校、北槇島小学校、小倉小学校、伊勢田小学校、西小倉小学校、大開小学校、西大久保小学校、宇治小学校、岡屋小学校、木幡小学校）

ウ 別室開室状況

（10校計）

- ・別室利用児童数…47人
- ・開室日数…延べ1,672日
- ・通室児童数…延べ4,073人（1校につき1日当たり約2.4人）

エ 効果

- ・学校にほとんど登校できなかった児童が定期的に別室に通うことができるようになった。
- ・不定期の登校であった児童が別室に毎日安定して通うことができるようになった。
- ・教室に入ることができなかった児童が別室で安定した生活を送る中で所属学級に入ることができるようになった。

6 府教委による不登校支援事業について

(1) スクールカウンセラー活用事業

小・中学校に臨床心理に関する高度な専門的知識及び経験を有する者をスクールカウンセラーとして配置し、学校における教育相談機能の充実を図る。

- ・ 配置校：22小学校
10中学校

(2) 心の居場所サポーター活用事業

小・中学校に心の居場所サポーター配置し、不登校傾向の児童生徒を対象に、学習支援や教育相談及び体験活動を行い、児童生徒の悩み、不安、ストレス等の解消を図り、心にゆとりを持てるような環境を提供することにより、不登校の未然防止や早期解決を図る。

- ・ 配置校：22小学校
10中学校

(3) まなび・生活アドバイザー配置事業

小・中学校にまなび・生活アドバイザーを配置し、児童生徒の基本的な生活習慣を確立させ、学習習慣の定着を図るための取組を支援するとともに、児童生徒の状況に応じて教育的、福祉的観点から学習・生活支援策を検討できるようにする。

- ・ 配置校：4小学校（菟道小学校、北榎島小学校、伊勢田小学校、平盛小学校）
6中学校（宇治中学校、北宇治中学校、榎島中学校、南宇治中学校、
東宇治中学校、木幡中学校）

※中学校及び伊勢田小学校配置のまなび・生活アドバイザーは、配置校を中心にして他の市内小中学校にも派遣されている。